

【様式1】

令和5年度 授業改善推進プラン

東久留米市立南中学校 第3学年

教科	学力に関する各調査に基づく生徒の学習状況分析 (数値等で具体的に示す)	具体的な授業改善策及び目標値 (数値等で具体的に示す)	次年度に向け た 自己評価 (A・B・C)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週1回「書く力」で200字から300字の短作文を書いているので、書くことに対しての苦手意識はあまりない生徒が多い。 ・説明文の読解に課題が見られる。 ・古文はずっと単元になかったので、現代仮名遣いを忘れていた生徒が3割程度いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月から「書く力」を200字で書くようにする。短文で自身の考えをしっかりと伝えられるようにしていく。 ・説明文の構成を理解し作者の考えを読み取ることを中心に、長文読解に取り組む。月に数回、長文読解の時間を設け、苦手意識をもつ生徒を2割程度まで減らしていく。 ・10月から古典に入ったので、現代仮名遣いの復習をしていく。 	
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な計算力と、数学的な表現力に課題が見られる。 ・思考・判断・表現については文章を読み込んで立式したり表現していくことに課題が見られる生徒は4割程度である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートやレポート課題に数学的に表現させる作問を用意するなど、数学的な表現に慣れる機会を設ける。計算力の定着を図るために計算テストを実施し合格点に達するまで繰り返し計算に取り組ませます。 ・毎週朝の時間に「解く力の育成」プリントを解くことによって思考判断表現する見方を養っていき、2割まで減らしていく。 	
(外国語)	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な英単語の聞き取りに課題が見られる。 ・短い英文を使って自分の考えや意見を伝えることに課題が見られる。 ・過去や未来の内容を表す表現に課題を感じている生徒が多くみられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎時間の帯活動で聞き取りの練習を行い、重要単語や文法はその都度まとめる。課題を感じる生徒を2割程度まで減らす。 ・英作文の時間を各時間内で設け、3～5単語で簡単に自分の意見を表出できる生徒の数を増やし、苦手と感じる生徒の割合を2割まで減らす。 ・各単位時間の帯活動として、過去のことや未来の内容を表す英作文の時間を設け、知識の補充を目指す。 	
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・資料から読み取ったことを結び付けて表現することに課題が見られる。 ・公民的分野、歴史的分野における知識・技能に課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る活動を増やしたり、タブレット端末を活用し、他の生徒の意見を確認できるようにしたりすることで、7割から4割程度まで減らしていく。 ・単元終了ごとにレポート作成を課したり、小テストを行ったりすることで、6割から3割程度まで減らしていく。 	
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・運動、仕事などの実験結果の数値を用いて、計算することに課題が見られる。 ・自然の事物、現象について科学的に考察し、物事を関連付けさせ規則性を見いだすことに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストなどで問題を解く機会を増やし問題に対して正しく解答する力を養う。 ・グラフやタブレット端末のワークシートを活用し、様々な方法で自分の考えを可視化する機会を増やし、レポート作成等に反映させる。 	